

(校長室から)

金山はONE TEAMだ!(御礼)

第49回「新春竹馬運動会」に際しましては、ご多用中にもかかわらず多くの皆様のご臨席を賜りました。寒風吹く中、ご来賓の皆様、保護者様、地域の皆様から子供たちに温かいお励ましをいただきました。誠にありがたく、私は胸の震えが止まりませんでした。

今回は特別な運動会となりました。台風の災害から3か月、子供たちは100日ぶりに母校の校庭で活動できました。環境大臣小泉進次郎様からは※メッセージを頂戴しました。

お陰様をもちまして、金山はONE TEAMだ!のスローガンのもと本校の子供たちは、復旧した校庭で精一杯力を出し切り、躍動しました。子供たちが母校で躍動し、輝く姿に私たちは感動しました。

これもひとえに皆様のお陰と、職員一同心から感謝申し上げます。

一時は開催が危ぶまれましたが、11月下旬には丸森町役場、宮城県、環境省の皆様のお力により災害ごみの搬出、12月に整地と土壌検査をして頂きました。12月中旬には金山地区歴史伝承会・榎並利夫様に「立ち上げれ 金山小」のポスターを作っていただきました。PTA会長齋藤様はじめPTA有志14名のご協力で作った竹馬を30セット作っていただきました。星板金工業社長・星通雄様には泥まみれになったジェットストーブを修理いただきました。更にPTA顧問・引地様から豚汁用の食器をご寄贈いただきました。

当日、PTA保体部の皆様とお手伝いの保護者の皆様には、朝早くから運動会の準備や会場の片付けをしていただきました。更に、災害後の開催ということもあり、たくさんの方々からご支援・ご協力をいただきました。

ジェットストーブは来賓席を温め続け、競技中の応援にほら貝を何度も吹鳴した瑞雲寺副住職村上明秀様、豚汁づくりの更生保護女性会の皆様、肉汁昼食場所提供のインバウンドDMO伊藤淳様、子供たちへお菓子プレゼントのマザー・ウイング小川ゆみ様、子供たちへの景品は金山歴史伝承会・榎並利夫様、大型鍋等のご協力は宮城県松島自然の家様、湯沸かし等お手伝いのご協力は宮城県教育庁生涯学習課様、NPOカタリバ女川向学館様、競技準備や片付けを率先して行った前職員の皆様、本当にありがとうございました。重ねて感謝申し上げます。

災害後にも関わらず、こうして開催できたのは、実に多くの方々の支えがあったからでございます。だからこそ、特別な運動会になったわけです。私たちは感謝の念でいっぱいです。

間借りは、まだまだ続きますが、皆様からいただいたご支援をもとに充実した教育活動を展開していく所存でありますので、本校の教育推進になお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。県内外の皆様への御礼の挨拶といたします。

令和2年 2月 5日

丸森町立金山小学校

校長 長谷川 修一

丸森町立金山小学校 児童、ご家族のみなさんへ

台風第十九号の被害によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された全ての方々に心よりお見舞いを申し上げます。また、浸水被害にあわれた金山小学校の校舎でみなさんが一日も早く再び学びあえることを祈ります。

台風の被害によって大量の家財道具や畳などが、残念なことに使えなくなりました。こうしたものについて、みなさんの通う金山小学校の大切な校庭を借りして処理を進めていました。その後、周辺にお住まいの皆様のご理解もいただき、また、丸森町、宮城県、事業者など、多くの方のご尽力のおかげで、昨年十一月に無事に校庭からの撤去が完了しました。環境大臣として、関係の皆様から感謝を申し上げます。ありがとうございます。

そして、本日、毎年一月に開催されている伝統行事の竹馬運動会が無事に開催されることを、本当にうれしく思います。

私の子供にも、大きくなったら竹馬に乗ってみてほしいと思います。運動会、しっかり力を出し切ってケガのないように楽しんで下さい。

令和二年一月十八日

環境大臣

小泉進次郎